



げんきな子 がんばる子 やさしい子

# 園だより

12月号

北区立さくらだこども園  
園長 西澤尚子

## 振り返り

今年も12月、一年の終わりの月を迎えます。一年を振り返り翌年に向けての願いや希望を新たに考えるのに適した時節と言えるでしょうか。

今、サッカーのワールドカップが開催されていて、日本チームの活躍を期待したいところですが、こども園でもサッカー遊びをする様子がよく見られます。5歳児はこれまでに何度も、地域の榮先生にサッカーを教えていただいていることもあり、力強くボールを蹴る様子が見られます。その姿は頼もしい反面、園庭でボールを蹴ると困ったことも起こります。フェンスを越えてボールが道路に飛び出したり、団地のひさしの上に向かって取れなくなってしまったりするのです。プロのサッカー選手でも思い通りにボールをコントロールできないのですから、幼児にボールがどこかに行ってしまうように蹴りましょう、と言っても難しいところです。ですが、ボールが園庭から飛び出ってしまった後の行動は、自分の意思で決められます。そのまま知らんぷりをするのか、先生にボールが飛び出してしまったことを知らせるのか。

ボールがフェンスを越えてしまって困った、よくないことをしてしまった（怒られるかな…）、との思いが、保育者に話すのをためらわせるのだと思います。ボールが団地の屋根に上がってしまったのを保育者に話せた幼児は、困ったときは保育者に話した方がいい（きっと受け止めてくれる）との気持ちが育っているのだと思います。困ったときに黙ったままでは、解決に繋がりません。また、よくない思いながら黙っていたり、無かったことにしようと考えたりすることは、社会の中で信頼される人にはなれないのではないかと思います。そして、話せば終わりではなく、振り返りが必要だと思います。同じことを繰り返さないために。自分のしたこと、自分の気持ちにじっくり向き合うことは、幼児であっても大事なことだと考えています。困ったり、失敗と感じたりすることは誰にでもあります。話し、振り返ることで自分に向き合い、よりよい自分になってほしいと願っています。

社会の中でいろいろな制限が緩和されてきました。したいことが思い切りできる令和5年になることを願います。よい年をお迎えください。

### —今月の指導のめあて—



- 〈3歳児〉
  - ・保育者に受け止められる安心感を基に、自分の気持ちを自分なりに言葉でも表そうとする。
  - ・学級で表現遊びや簡単な楽器遊びをする中で、自分なりに表現する楽しさやおもしろさを感じる。
  - ・年末年始の行事や雰囲気に触れ、楽しみにしたり、季節の移り変わりを感じたりする。
- 〈4歳児〉
  - ・自分の思いやイメージをもち、それを実現することや、繰り返し取り組むことの楽しさを感じる。
  - ・鬼遊びやボール遊びなど、簡単な遊び方やルールが分かり、友達と一緒に体を動かすことを楽しむ。
  - ・冬の自然に触れながら季節の移り変わりを感じたり、年末年始の行事を知って楽しみにしたりする。
- 〈5歳児〉
  - ・自分の考えやイメージを相手に分かるように伝えたり、友達の話をよく聞いて受け入れたりしながら、遊びを進めていこうとする。
  - ・自分のめあてに向かって繰り返し取り組み、楽しさや充実感を味わう。
  - ・年末年始の雰囲気を感じたり、行事の意味を知ったりし、楽しみにして過ごす